



つばきこども園の園児が描いた「夏祭り」の絵をあしらったイベントポスターを手にする
実行委員会委員長の砂後さん（左）と青年部部長の尾上さん（右）

【close-up】与謝野町商工会青年部「よさの未来灯」

与謝野町の夜空に 未来へつなぐ“灯”を

9月12日、新型コロナウイルス感染症の影響による休止期間を経て、与謝野町商工会青年部が8年ぶりに花火大会を開催します。まちのにぎわい創出を目的に、2014年から岩滝や野田川地域で開催してきた花火大会ですが、加悦地域での開催は今回が初めてです。「子どもたちの思い出に残る花火大会にしたい」と意気込む砂後さんと尾上さんに、開催への思いや大会に込めた願いを伺いました。

8年ぶりの花火大会、その思いとは

「人口が減っても、まちの元気までなくなる理由にはならない」

その言葉には、8年ぶりに花火大会を復活させる青年部の強い決意が込められています。9月12日、青年部主催の花火大会「よさの未来灯」が加悦地域で初めて開催されます。2014年から岩滝や野田川地域で続けてきた夏祭りは、新型コロナウイルス感染症の影響で中断。それでも「もう一度、まちに笑顔が集まる夏祭りをつくりたい」という思いは消えることなく、復活へ向けた歩みが始まりました。

青年部は現在28人。「与謝野町全体の夏祭りをつくりたい」。商工会合併後、そんな思いから始まった夏祭り事業は、子どもたちの歓声とともに地域の夏の風景として親しまれてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もありイベントの中止が続き、

そのまま姿を消した催しも少なくありません。

実行委員長の砂後隆正さんは、「地域のイベントが減っていく中で、このまま縮小していくのではなく、何か挑戦するきっかけをつくりたかった」と振り返ります。「人口減少は全国的な課題。でも、それを理由に地域が元気を失う必要はありません。花火大会が、まちを盛り上げる新しい一歩になればと思っています」。

子どもたちの笑顔が、未来への原動力に

大会名に「未来」という言葉を含めたのは、子どもたちへの願いからです。青年部長の尾上雄紀さんは、「話し合いを重ねる中で、みんなが口にしていたのは『子どもたちのために何かしたい』という思いでした。花火は一瞬ですが、その景色は何年たっても心に残ります。子どもたちに与謝野町の夏を思い出として刻んでほしい」と語ります。

現在は、協賛企業への依頼や当日の運営準備が大詰めを迎えています。物価高の影響も心配されましたが、多くの方から「頑張ってほしい」と温かい支援が寄せられ、打ち上げ花火の数は当初予定を上回る見込みです。当日はステージイベントやビンゴ大会、キッチンカーなど、多彩な催しで会場を盛り上げます。

「この日を楽しみに待ってもらえるだけでも、花火には価値があると思うんです」そう話す砂後さんは、来年で青年部を卒業します。「青年部で20年近く、多くのことを学ばせてもらいました。最後に地域へ恩返しをしたい。そして、この花火大会が次の世代へ受け継がれていく『火種』になってくれたらうれしいです」。

夜空を彩る一発一発には、子どもたちの笑顔、地域への感謝、そして未来へ挑戦する青年部の思いが込められています。8年ぶりに帰ってくる花火が、与謝野町の新たな夏の風景を照らします。

よさの未来灯 — 起こしたる与謝野革命！ —

■ 日時 **9/12** (土)
16:00 ~ 21:00

※ 天候などにより変更となる場合があります

■ 会場 **加悦谷ショッピング
プラザ ウイル周辺**

※ 駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください

■ タイムスケジュール (予定)

16:00 ~ 開会、模擬店販売開始
16:15 ~ ステージイベント
18:30 ~ ビンゴ大会
20:00 ~ 花火
21:00 閉会、模擬店販売終了



問 与謝野町商工会青年部 ☎ 43-1020

イベントの最新情報は、商工会青年部の Instagram (@yosano_impulse) をご覧ください。

